

一九八九·成都
四川科学技术出版社

经穴辨证运用学

余仲权 林建华 编著

前 言

针灸学是祖国医学宝库中的一颗明珠。在其数千年的发展过程中，源远流长，著述如林，名家辈出，治病救人经验宏富，是一门自成体系的临床学科，具有简、便、廉、效和适应证广的特点。它不但广泛地应用于内、外、妇、儿、五官、皮肤等临床各科的病证，而且对一些疑难病证如喉肌痉挛、强直性瞳孔散大、色盲等也有疗效。其辨识疾病依病因、病性、病位、病势，落实到经络、脏腑、气血、阴阳而采用辨证论治，有理论，有临床，理、法、方、穴、术丝丝如扣，一线贯通。目前，针灸已走向世界，深受各国人民的欢迎。所以，我们的国宝——针灸学是值得进一步发掘、整理的，而发扬光大，提高其疗效，扩大其应用范围，既是形势的需要，也是我们的责任。

如何继承和发扬呢？《内经》奠定了针灸学的基础，晋代皇甫谧著《针灸甲乙经》，以六经受病发伤寒热病等五十四个方面进行归经，唐代孙思邈著《备急千金要方》，又以“孔穴主对”按病证为纲总结了唐以前的经验，明代杨继洲著《针灸大成》，集明以前针灸专科之大成。以“诸风门”等二十三门论述，搜集歌赋临床经验。然纵观历代著述，还没有以“腧穴主治归纳”入手总结的，使人在教学、临床治疗时总有内容散杂，难于掌握之感，而本书正是解决这个问题的一把钥匙。

我们总结三十年教学和临床实践的体会，以经络为纲，病证为目，对每一经的主治功用加以归纳；再根据十四经主治小结，以病证为纲，把十四经腧穴主治进行对病对证的整理归类。这样，既可为临床辨证运用经络腧穴提供依据，又可把经络学、腧穴学和针灸治疗学的教学工作连成一个有机的整体，为教师和学生学习针灸理论奠定一块坚实的基础。

作者

1988年7月

目 录

上篇 经络腧穴	
第一章 学习经络理论	
第一节 十二经脉	1
一、经络起源	1
二、经络的系统性和复杂性	2
第二节 奇经八脉	3
一、任脉、督脉	3
二、阳维、阴维	5
三、阳跷、阴跷	6
四、带脉、冲脉	6
第三节 十五络脉	7
第四节 十二经别	8
第五节 十二经筋	8
第六节 十四皮部	9
第二章 十四经穴	11
第一节 腧穴的发展概况	11
第二节 腧穴主治功用	12
第三节 手太阴肺经 (11穴)	13
一、循行	13
二、生理病机病候及主治功用	15
三、腧穴各论	18
(一) 中府	18
(二) 云门	19
(三) 天府	19
(四) 侠白	20
(五) 尺泽	21
(六) 孔最	22
(七) 列缺	23
(八) 经渠	24
(九) 太渊	24
(十) 鱼际	25
(十一) 少商	26
四、手太阴肺经腧穴主治小结	27

第四节 手阳明大肠经

(20穴).....29

一、循行.....29

二、生理病机病候

及主治功用.....30

三、腧穴各论.....32

(一) 商阳.....32

(二) 二间.....33

(三) 三间.....33

(四) 合谷.....34

(五) 阳溪.....36

(六) 偏历.....36

(七) 温溜.....37

(八) 下廉.....38

(九) 上廉.....38

(十) 手三里.....39

(十一) 曲池.....39

(十二) 肘髎.....40

(十三) 五里.....41

(十四) 臂臑.....41

(十五) 肩髃.....42

(十六) 巨骨.....42

(十七) 天鼎.....43

(十八) 扶突.....43

(十九) 禾髎.....44

(二十) 迎香.....44

四、手阳明大肠经腧

穴主治小结.....45

第五节 足阳明胃经

(45穴).....49

一、循行.....49

二、生理病机病候

及主治功用.....50

三、腧穴各论.....54

(一) 承泣.....54

(二) 四白.....54

(三) 巨髎.....55

(四) 地仓.....56

(五) 大迎.....57

(六) 颊车.....57

(七) 下关.....58

(八) 头维.....59

(九) 人迎.....59

(十) 水突.....60

(十一) 气舍.....60

(十二) 缺盆.....61

(十三) 气户.....61

(十四) 库房.....62

(十五) 屋翳.....62

(十六) 膺窗.....63

(十七) 乳中.....63

(十八) 乳根.....64

(十九) 不容.....64

(二十) 承满.....65

(二十一) 梁门	65
(二十二) 关门	66
(二十三) 太乙	66
(二十四) 滑肉门	67
(二十五) 天枢	67
(二十六) 外陵	68
(二十七) 大巨	69
(二十八) 水道	69
(二十九) 归来	70
(三十) 气冲	70
(三十一) 髀关	71
(三十二) 伏兔	71
(三十三) 阴市	72
(三十四) 梁丘	72
(三十五) 犊鼻	73
(三十六) 足三里	73
(三十七) 上巨虚	76
(三十八) 条口	77
(三十九) 下巨虚	77
(四十) 丰隆	78
(四十一) 解溪	79
(四十二) 冲阳	80
(四十三) 陷谷	81

(四十四) 内庭	81
(四十五) 厉兑	82

四、足阳明胃经腧穴

主治小结·····83

第六节 足太阴脾经

(21穴)·····88

一、循行·····88

二、生理病机病侯及

主治功用·····90

三、腧穴各论·····92

(一) 隐白·····92

(二) 大都·····93

(三) 太白·····93

(四) 公孙·····94

(五) 商丘·····95

(六) 三阴交·····96

(七) 漏谷·····98

(八) 地机·····98

(九) 阴陵泉·····99

(十) 血海·····100

(十一) 箕门·····100

(十二) 冲门·····101

(十三) 府舍·····101

(十四) 腹结·····102

(十五) 大横·····102

(十六) 腹哀·····103

(十七) 食窦·····103

(十八)天溪 ……104	主治功用 ……123
(十九)胸乡 ……104	三、腧穴各论 ……124
(二十)周荣 ……104	(一)少泽 ……124
(二十一)大包 ……105	(二)前谷 ……125
四、足太阴脾经腧	(三)后溪 ……126
穴主治小结 ……105	(四)腕骨 ……127
第七节 手少阴心经	(五)阳谷 ……127
(9穴) ……108	(六)养老 ……128
一、循行 ……108	(七)支正 ……129
二、生理病机病候及	(八)小海 ……129
主治功用 ……110	(九)肩贞 ……130
三、腧穴各论 ……112	(十)臑俞 ……131
(一)极泉 ……112	(十一)天宗 ……131
(二)青灵 ……113	(十二)秉风 ……132
(三)少海 ……113	(十三)曲垣 ……132
(四)灵道 ……114	(十四)肩外俞 ……133
(五)通里 ……114	(十五)肩中俞 ……133
(六)阴郄 ……115	(十六)天窗 ……134
(七)神门 ……116	(十七)天容 ……134
(八)少府 ……117	(十八)颧髎 ……135
(九)少冲 ……118	(十九)听宫 ……135
四、手少阴心经腧穴	四、手太阳小肠经腧
主治小结 ……118	穴主治小结 ……136
第八节 手太阳小肠经	第九节 足太阳膀胱经
(19穴) ……121	(67穴) ……139
一、循行 ……121	一、循行 ……139
二、生理病机病候及	二、生理病机病候及

王治功用	141		159
三、解穴各论	142	(二十五) 大肠俞	159
(一) 睛明	142		160
(二) 攒竹	143	(二十六) 关元俞	160
(三) 眉冲	144		161
(四) 曲差	144	(二十七) 小肠俞	160
(五) 五处	145		161
(六) 承光	145	(二十八) 膀胱俞	161
(七) 通天	146		162
(八) 络却	146	(二十九) 中膂俞	162
(九) 玉枕	147		162
(十) 天柱	147	(三十) 白环俞	162
(十一) 大杼	148	(三十一) 上髎	163
(十二) 风门	149	(三十二) 次髎	163
(十三) 肺俞	150	(三十三) 中髎	164
(十四) 厥阴俞	151	(三十四) 下髎	164
(十五) 心俞	151	(三十五) 会阳	165
(十六) 督俞	152	(三十六) 承扶	165
(十七) 膈俞	153	(三十七) 殷门	166
(十八) 肝俞	154	(三十八) 浮郤	166
(十九) 胆俞	154	(三十九) 委阳	167
(二十) 脾俞	155	(四十) 委中	167
(二十一) 胃俞	156	(四十一) 附分	169
(二十二) 三焦俞	157	(四十二) 魄户	169
.....	157	(四十三) 膏肓俞	170
(二十三) 肾俞	158		170
(二十四) 气海俞		(四十四) 神堂	170

(四十五) 谿谿 …171
(四十六) 膈关 …171
(四十七) 魂门 …172
(四十八) 阳纲 …172
(四十九) 意舍 …173
(五十) 胃仓 ……173
(五十一) 育门 …174
(五十二) 志室 …174
(五十三) 胞育 …175
(五十四) 秩边 …176
(五十五) 合阳 …176
(五十六) 承筋 …177
(五十七) 承山 …178
(五十八) 飞扬 …179
(五十九) 跗阳 …180
(六十) 昆仑 ……180
(六十一) 仆参 …181
(六十二) 申脉 …182
(六十三) 金门 …182
(六十四) 京骨 …183
(六十五) 束骨 …184
(六十六) 通谷 …184
(六十七) 至阴 …185
四、足太阳膀胱经
腧穴主治小结 …186
第十节 足少阴肾经
(27穴) ……191

一、循行 ……191
二、生理病机病候及 主治功用 ……193
三、腧穴各论 ……196
(一) 涌泉 ……196
(二) 然谷 ……197
(三) 太溪 ……198
(四) 大钟 ……198
(五) 水泉 ……199
(六) 照海 ……199
(七) 复溜 ……200
(八) 交信 ……201
(九) 筑宾 ……202
(十) 阴谷 ……202
(十一) 横骨 ……202
(十二) 大赫 ……203
(十三) 气穴 ……204
(十四) 四满 ……204
(十五) 中注 ……205
(十六) 育俞 ……205
(十七) 商曲 ……205
(十八) 石关 ……206
(十九) 阴都 ……206
(二十) 通谷 ……207
(二十一) 幽门 ……207
(二十二) 步廊 ……208
(二十三) 神封 ……208

(二十四) 灵墟 ……209	及主治功用 ……226
(二十五) 神藏 ……209	三、腧穴各论 ……228
(二十六) 彘中 ……209	(一) 关冲 ……228
(二十七) 俞府 ……210	(二) 液门 ……228
四、足少阴肾经腧	(三) 中渚 ……229
穴主治小结 ……210	(四) 阳池 ……230
第十一节 手厥阴心	(五) 外关 ……230
包经(9穴) ……214	(六) 支沟 ……231
一、循行 ……214	(七) 会宗 ……232
二、生理病机病候及	(八) 三阳络 ……232
主治功用 ……216	(九) 四渎 ……233
三、腧穴各论 ……216	(十) 天井 ……233
(一) 天池 ……216	(十一) 清冷渊 ……234
(二) 天泉 ……217	(十二) 消泅 ……234
(三) 曲泽 ……217	(十三) 臑会 ……235
(四) 郄门 ……218	(十四) 肩髃 ……235
(五) 间使 ……219	(十五) 天髃 ……235
(六) 内关 ……219	(十六) 天牖 ……236
(七) 大陵 ……220	(十七) 翳风 ……236
(八) 劳宫 ……221	(十八) 瘰脉 ……237
(九) 中冲 ……222	(十九) 颅息 ……237
四、手厥阴心包经腧	(二十) 角孙 ……238
穴主治小结 ……223	(二十一) 耳门 ……238
第十二节 手少阳三焦	(二十二) 和髃 ……238
经(23穴) ……225	(二十三) 丝竹空
一、循行 ……225	……………239
二、生理病机病候	四、手少阳三焦经

腧穴主治小结 …	240
第十三节 足少阳胆经	
(44穴) ……………	243
一、循行 ……………	243
二、生理病机病候及 主治功用 ……………	245
三、腧穴各论 ……………	246
(一) 瞳子髎 ……………	246
(二) 听会 ……………	247
(三) 上关 ……………	247
(四) 颌厌 ……………	248
(五) 悬颅 ……………	248
(六) 悬厘 ……………	249
(七) 曲鬓 ……………	249
(八) 率谷 ……………	250
(九) 天冲 ……………	250
(十) 浮白 ……………	251
(十一) 窍阴 ……………	251
(十二) 完骨 ……………	252
(十三) 本神 ……………	252
(十四) 阳白 ……………	253
(十五) 头临泣 ……………	253
(十六) 目窗 ……………	254
(十七) 正营 ……………	255
(十八) 承灵 ……………	255
(十九) 脑空 ……………	255
(二十) 风池 ……………	256

(二十一) 肩井 ……………	257
(二十二) 渊液 ……………	257
(二十三) 辄筋 ……………	258
(二十四) 日月 ……………	258
(二十五) 京门 ……………	259
(二十六) 带脉 ……………	259
(二十七) 五枢 ……………	260
(二十八) 维道 ……………	260
(二十九) 居髎 ……………	261
(三十) 环跳 ……………	261
(三十一) 风市 ……………	262
(三十二) 中渎 ……………	262
(三十三) 阳关 ……………	263
(三十四) 阳陵泉 ……………	263
(三十五) 阳交 ……………	264
(三十六) 外丘 ……………	265
(三十七) 光明 ……………	265
(三十八) 阳辅 ……………	266
(三十九) 悬钟 ……………	266
(四十) 丘墟 ……………	267
(四十一) 足临泣 ……………	268
(四十二) 地五会 ……………	268
(四十三) 侠溪 ……………	269
(四十四) 足窍阴	

.....	269
四、足少阳胆经腧	
穴主治小结.....	270
第十四节 足厥阴肝	
经(14穴).....	275
一、循行.....	275
二、生理病机病候	
及主治功用.....	277
三、腧穴各论.....	279
(一)大敦.....	279
(二)行间.....	280
(三)太冲.....	280
(四)中封.....	281
(五)蠡沟.....	282
(六)中都.....	283
(七)膝关.....	283
(八)曲泉.....	283
(九)阴包.....	284
(十)五里.....	285
(十一)阴廉.....	285
(十二)急脉.....	285
(十三)中门.....	286
(十四)期门.....	286
四、足厥阴肝经腧穴	
穴主治小结.....	287
第十五节 任脉	
(24穴).....	291

一、循行.....	291
二、生理病候及主治	
功用.....	291
三、腧穴各论.....	293
(一)会阴.....	293
(二)曲骨.....	294
(三)中极.....	295
(四)关元.....	296
(五)石门.....	297
(六)气海.....	298
(七)阴交.....	298
(八)神阙.....	299
(九)水分.....	300
(十)下脘.....	301
(十一)建里.....	301
(十二)中脘.....	302
(十三)上脘.....	303
(十四)巨阙.....	304
(十五)鸠尾.....	305
(十六)中庭.....	306
(十七)膻中.....	306
(十八)玉堂.....	307
(十九)紫宫.....	308
(二十)华盖.....	308
(二十一)璇玑.....	309
(二十二)天突.....	309
(二十三)廉泉.....	310

(二十四) 承浆 ……311	
四、任脉腧穴主治小结 ……312	
第十六节 督脉	
(28 穴) ……317	
一、循行 ……317	
二、生理病机病候及主治功用 ……317	
三、腧穴各论 ……319	
(一) 长强 ……319	
(二) 腰俞 ……320	
(三) 腰阳关 ……320	
(四) 命门 ……321	
(五) 悬枢 ……321	
(六) 脊中 ……322	
(七) 中枢 ……322	
(八) 筋缩 ……322	
(九) 至阳 ……323	
(十) 灵台 ……323	
(十一) 神道 ……324	
(十二) 身柱 ……324	
(十三) 陶道 ……325	
(十四) 大椎 ……325	
(十五) 哑门 ……326	
(十六) 风府 ……327	
(十七) 脑户 ……328	
(十八) 强间 ……329	

(十九) 后顶 ……329	
(二十) 百会 ……330	
(二十一) 前顶 ……331	
(二十二) 囟会 ……332	
(二十三) 上星 ……332	
(二十四) 神庭 ……333	
(二十五) 素髻 ……334	
(二十六) 水沟 ……335	
(二十七) 兑端 ……336	
(二十八) 龈交 ……336	
四、督脉腧穴主治小结 ……337	

下篇 经穴辨证运用

第一章 痛证 ……343	
第一节 头痛 ……343	
第二节 咽喉痛 ……345	
第三节 牙痛 ……346	
第四节 面痛 ……347	
第五节 胸肋痛 ……347	
第六节 腰痛 ……348	
第七节 胃脘痛 ……349	
第八节 腹痛 ……350	
第九节 痛经 ……352	
第二章 肺经病 ……353	
第一节 气喘 ……353	
第二节 咳嗽 ……354	

第三节	短气	355	第四节	尸厥	373
第四节	咳逆上气	355	第五节	瘕瘕	374
第五节	胸胀满	356	第六节	痉	375
第六节	其它肺经病		第七节	心悸怔忡	376
		357	第八节	失眠	376
第三章	脾胃病	359	第九节	烦心	377
第一节	食欲不振	359	第十节	笑	377
第二节	消化不良、 伤食	360	第十一节	健忘	378
第三节	腹胀满	360	第十二节	凉风	379
第四节	腹泻	361	第十三节	嗜卧	379
第五节	便秘	362	第十四节	神志其它 病	380
第六节	呕吐	362	第六章	癲、狂、痫	383
第七节	流涎	363	第一节	癲	383
第八节	痰	364	第二节	狂	384
第九节	脾胃其它疾 病	365	第三节	痫	385
第四章	泌尿系病	367	第七章	血脉病	387
第一节	小便不利	367	第一节	衄血	387
第二节	水肿	368	第二节	咯血	388
第三节	遗尿	369	第三节	吐血	389
第四节	泌尿系其它 病	369	第四节	便血	389
第五章	神志病	371	第五节	尿血	390
第一节	中风	371	第六节	无脉证	390
第二节	眩暈	372	第八章	妇科病	392
第三节	目眩	373	第一节	经闭	392
			第二节	月水不利	393
			第三节	崩漏	393

第四节	带下	394	第三节	盗汗	411
第五节	胞衣不下	395	第四节	多汗	411
第六节	阴挺	396	第五节	其它汗证	412
第七节	乳难	396	第十二章	眼、耳、鼻、	
第八节	妇科其它病		口病	413	
证	397		第一节	眼科病	413
第九章	传染病	399	第二节	耳病	418
第一节	疟疾	399	第三节	口舌病	420
第二节	痢疾	400	第四节	鼻病	421
第三节	劳瘵		第十三章	热病 ..	423
(肺结核)	401		第一节	中暑	423
第十章	外科、皮肤病		第二节	热病	423
.....	402		第三节	黄疸、目黄	
第一节	乳痈	402		424	
第二节	痔疮	403	第四节	骨蒸潮热	426
第三节	疝气	403	第五节	口中热腐	426
第四节	瘰癧	404	第六节	消渴	427
第五节	瘰瘤	405	第七节	痿证	427
第六节	疔疮	405	第十四章	急救	429
第七节	疥癣	406	第十五章	经络病	430
第八节	隐疹、风疹	406	第一节	头颈部	430
第九节	落枕	407	第二节	胸胁部	431
第十节	其它外科、		第三节	腰背部	431
皮肤	病	408	第四节	四肢	432
第十一章	汗证	409	第五节	上肢	433
第一节	发热无汗	409	第六节	下肢	436
第二节	自汗	410	编后记	440	

一九八九·成都
四川科学技术出版社

经穴辨证运用学

余仲权 林建华 编著

前 言

针灸学是祖国医学宝库中的一颗明珠。在其数千年的发展过程中，源远流长，著述如林，名家辈出，治病救人经验宏富，是一门自成体系的临床学科，具有简、便、廉、效和适应证广的特点。它不但广泛地应用于内、外、妇、儿、五官、皮肤等临床各科的病证，而且对一些疑难病证如喉肌痉挛、强直性瞳孔散大、色盲等也有疗效。其辨识疾病依病因、病性、病位、病势，落实到经络、脏腑、气血、阴阳而采用辨证论治，有理论，有临床，理、法、方、穴、术丝丝如扣，一线贯通。目前，针灸已走向世界，深受各国人民的欢迎。所以，我们的国宝——针灸学是值得进一步发掘、整理的，而发扬光大，提高其疗效，扩大其应用范围，既是形势的需要，也是我们的责任。

如何继承和发扬呢？《内经》奠定了针灸学的基础，晋代皇甫谧著《针灸甲乙经》，以六经受病发伤寒热病等五十四个方面进行归经，唐代孙思邈著《备急千金要方》，又以“孔穴主对”按病证为纲总结了唐以前的经验，明代杨继洲著《针灸大成》，集明以前针灸专科之大成。以“诸风门”等二十三门论述，搜集歌赋临床经验。然纵观历代著述，还没有以“腧穴主治归纳”入手总结的，使人在教学、临床治疗时总有内容散杂，难于掌握之感，而本书正是解决这个问题的一把钥匙。